

“いざ”という時のために事前に確認！

みやま市

令和6年 保存版

洪水・土砂災害 ハザードマップ



みやま市

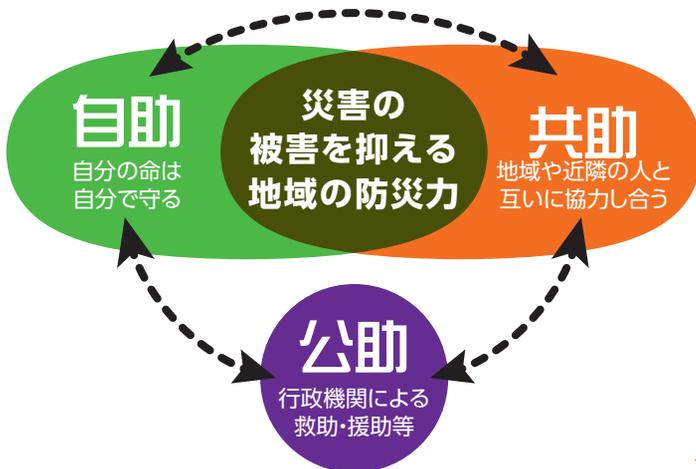
はじめに

近年、各地で集中豪雨による浸水被害等がみられるように、みやま市では、平成24年の九州北部豪雨、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨などにより甚大な被害を受けました。今後も気候変動により、台風や集中豪雨の発生頻度が増加することが懸念されています。このような状況から、福岡県が公表する中小河川を含めた洪水浸水想定区域などに基づき、『みやま市洪水・土砂災害ハザードマップ』を見直しました。

住民の皆さまにおかれましては、「自分たちのまちは、自分たちで守る!」という意識のもと、災害リスクへの正しい知識、命を守る行動に心がけていただき、災害に備えましょう。

令和6年3月 みやま市

自主防災組織



ハザードマップの活用

オリジナルマップを作りました!

いざという時にあわてないように、指定避難所や家族同士の連絡方法などについて、話し合っておきましょう。

家族で話し合っておきたいこと

- 1 最寄りの指定避難所と、そこまでの**避難ルート**の確認
- 2 家族同士の**連絡方法**
- 3 家族が最終的に**集まる場所**
- 4 家の中で**安全な場所**はどこか



自宅や地域にどのような危険があるか?裏面の「ハザードマップ」で確認しましょう!

災害リスクを知ろう **洪水氾濫の危険性**

! 大雨が降りそうになってきたら、
情報を収集して**避難の判断**をしましょう。



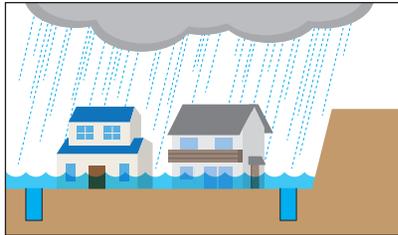
! 突然の大雨から被害が拡大!? ~内水氾濫から洪水へ~

非常に激しい雨が降ると...



内水氾濫

川から水があふれたのではなく、町や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水氾濫」といいます。



洪水

大雨などを原因として、河川の流量が異常に増加することを「洪水」といいます。



避難所では落ち着いた行動を

市やテレビ・ラジオからの情報を聞いて、落ち着いた行動してください。



「避難」って何をすればいいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



! 日頃より避難時の行動を決めておきましょう。

行政が指定した指定避難所への立退き避難

自ら携行するもの
●懐中電灯 ●携帯電話・充電器
●水・食料等 ●常備薬

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

屋内安全確保

ハザードマップで以下の[3つの条件]を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水、食料などの備蓄が十分

いつ、どんなときに避難するの？ 避難の心得

避難情報や防災気象情報を入手して適切な避難をしましょう！

警戒レベル	防災気象情報	避難情報	住民がとるべき行動
高 警戒レベル5	大雨特別警報 警戒レベル4までに必ず避難！	緊急安全確保	危険な区域からまだ避難できていない方は命を守るための最善の行動をとる。
警戒レベル4	土砂災害警戒情報	避難指示	避難を完了 少しでも安全な場所にすみやかに避難
警戒レベル3	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難	高齢者等はすみやかに避難する。
警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報	—	ハザードマップ等で避難行動を確認
低 警戒レベル1	早期注意情報(警報級の可能性)	—	災害への心構えを高める。

情報のチェックをしっかりと！

危険を感じたら、市が発令する避難指示などを待たずに**自主避難**を！
逃げ遅れによる被災が多くなっています。



河川氾濫や集中豪雨のおそれがある場合は、次のことに注意して避難してください！

河川や水路には近づかない
川や田んぼを見に行かない！

動きやすい服装で！

基本は徒歩で！
車は水深30cmで走行困難になります。

必ず切って！
出火防止のため、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。

連絡先メモ
連絡がとれなくなったときのために、メモなどで行き先をわかるようにしておきましょう。

安全な道を！
がけ崩れなどの可能性があるので、狭い道や塀のそば、川べりなどは避けて避難しましょう。

やむを得ない場合(浸水した水の中を歩く場合)

人が歩ける目安
水深が深い場合は無理せず高所へ避難します。

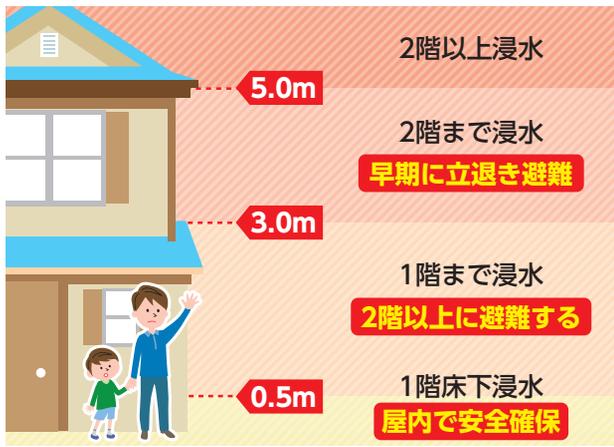
障害物に注意！
水路やマンホールなどの転落に注意しましょう。

長靴よりも靴！
靴ひものある運動靴をはきましょう。長靴は水が入ると危険！

ハザードマップの見方 水害の備え

! 浸水の深さを知って、**状況に応じた避難**を考えよう!

洪水浸水想定区域

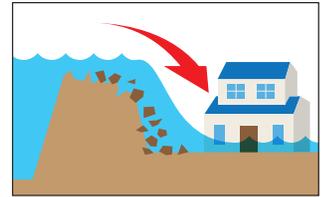


家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流・河岸侵食)



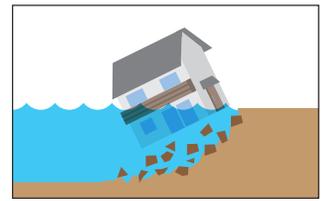
はんらんりゅう
「**氾濫流**」による
家屋倒壊等

堤防の決壊等にもなう激しい流れによる木造家屋の消失、倒壊のおそれがあります。

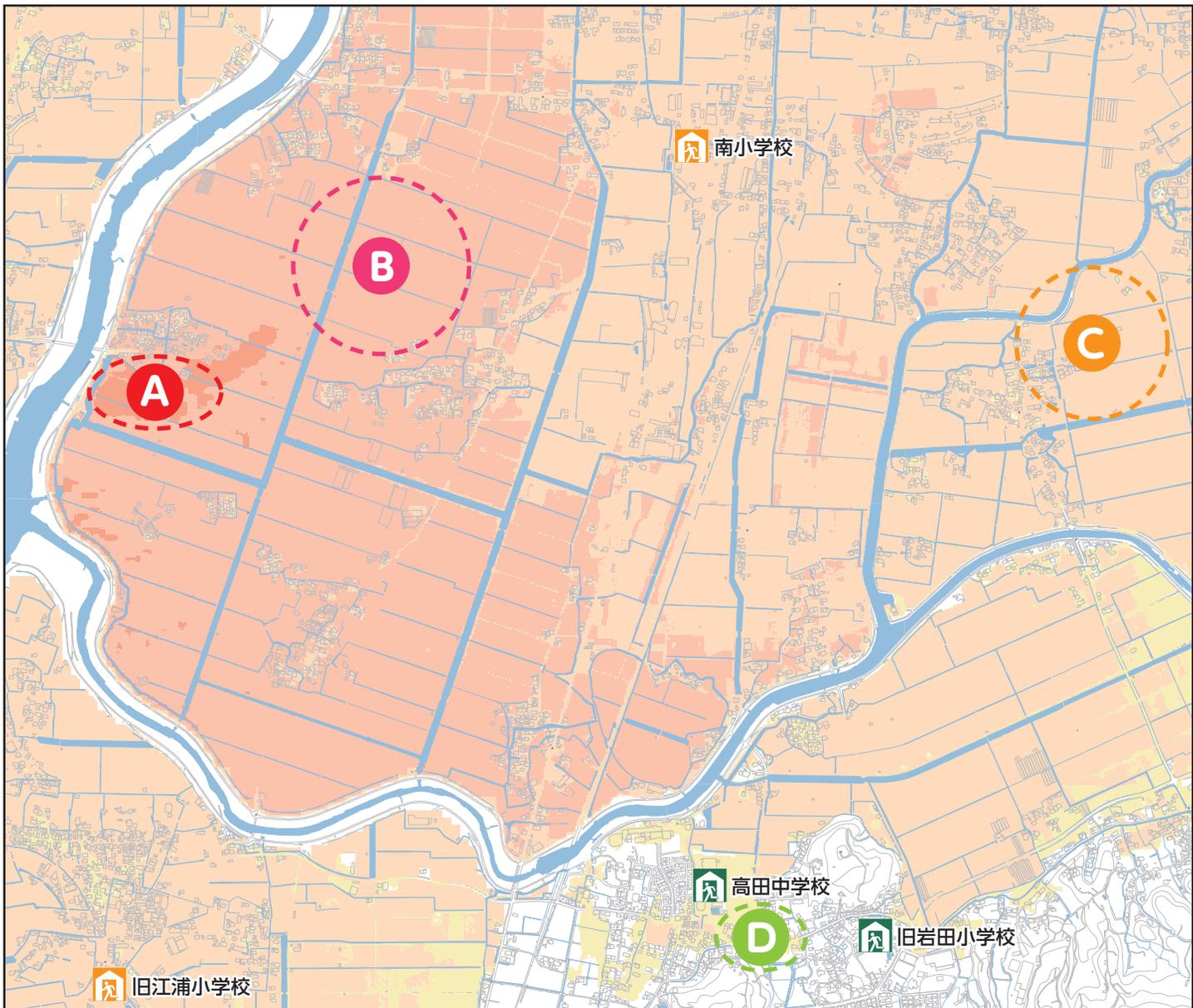


かがんしんしょく
「**河岸侵食**」による
家屋倒壊等

地面が削られ、家屋は建物ごと崩壊するおそれがあります。



! 裏面の「**洪水・土砂災害**」ハザードマップを確認しましょう!



どこにどうやって避難する？

浸水の深さに応じて事前に避難先を決めておくことが大切です。家族で話し合っ「わが家の防災手帳」に書き込みましょう。



洪水浸水想定区域



浸水想定区域外への避難が基本

時間と安全な避難経路が確保されていれば…
外が明るいうちに**必ず避難**

すでに外が危険な場合

とるべき行動

指定避難所など
浸水しない
安全な場所へ

指定避難所
マップにあるこのマークの場所へ!

とにかく早くここから避難!

氾濫しそう!

今いる建物の
2階以上または
近くの安全な
高い建物へ

高いところに避難!

平屋から脱出

あわてず、
その場に
とどまり
安全確保

地下は危険! 浸水深が低くても避難!

これなら外に避難しなくても大丈夫そう

床下浸水

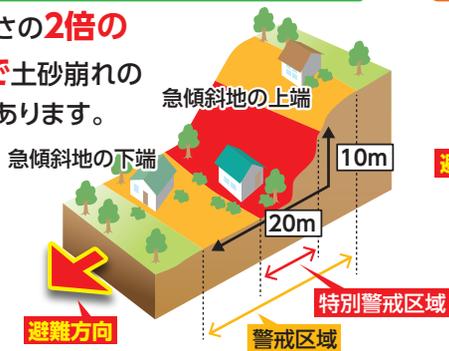
土砂災害警戒区域等 土砂災害への備え

土砂災害警戒区域《土砂災害のおそれがある区域》

土砂災害特別警戒区域《建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域》

がけ崩れ(急傾斜)

がけの高さの**2倍の距離**まで土砂崩れの危険性があります。



土石流



地すべり



土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域を指定します。

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、**建築物に損壊が生じ**住民等の生命又は身体に**著しい危害**が生じるおそれがある区域を指定します。

大雨 長雨 台風 地震 このような時、このような場所は危険!

がけ崩れ(急傾斜)

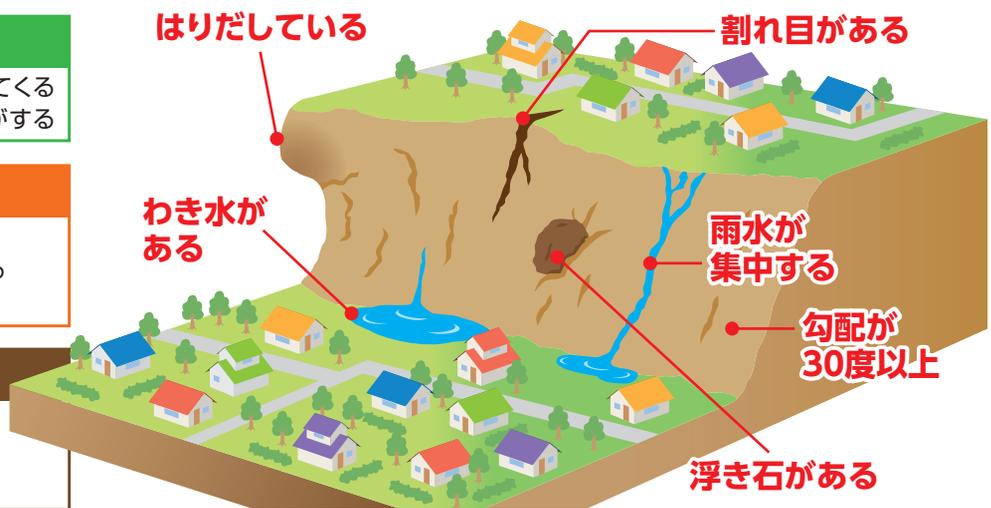
- がけからの水がにこる
- 小石が落ちてくる
- がけに亀裂が入る
- がけから音がする

土石流

- 山鳴りがする
- 雨が降りつづくのに、川の水位が下がる
- 川が、にごったり流木が流れる

地すべり

- 地面に、ひび割れができる
- 井戸や沢の水がにこる
- がけや斜面から水が吹き出す



土砂災害からの避難 平常時から避難方向を考えておきましょう。

斜面高さ2倍以上離れる

急傾斜の場合

がけ崩れの恐れがある場合



土石流の場合

土石流の恐れがある場合



就寝は1階より2階で

自宅の周辺がすでに増水して、夜間で視界が悪く、**屋外に出るとさらに危険な場合**

自宅の2階以上
(斜面側から離れた部屋)



近くの丈夫な建物
(鉄筋コンクリート造)



防災気象情報入手しましょう

気象情報をはじめ、インターネットなどから災害の危険性を事前に確認しましょう。

みやま市[防災]

みやま市防災

検索



防災気象情報キキクル

気象庁(キキクル)

検索



福岡県総合防災情報

福岡県の防災情報

検索



重ねるハザードマップ(国土交通省)

重ねるハザードマップ

検索



福岡県防災アプリ 利用無料 簡単操作

ふくおか防災ナビ
まもるくん

ぜひ登録を!

防災情報は生活必需品!



テレビリモコンのd(データ)ボタン

1 dボタンを押す 2 自治体情報を選ぶ 3 防災・防犯を選ぶ



知っておくと便利な緊急連絡先

火事・救急

119

警察

110

海上の
事故・事件

118

災害用伝言
ダイヤル

171

災害用伝言ダイヤル操作方法

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行ってください。

電話の場合

171
にダイヤル

録音の場合

1

再生の場合

2

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。(0×××)××-××××

インターネットの場合

パソコン、携帯電話、スマートフォンで

Web
171
災害用伝言板



「災害用伝言板(Web171)」は、インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

いざという時の備えを!

避難の際に準備しておきたいもの

いざという時の備え



ホイッスル(呼び笛)、防犯ベル 食料 飲料水 粉ミルク、液体ミルク

家には常に、3日分程度の食料・飲料水を準備しておきましょう。

個人に必要な情報



健康保険証 運転免許証
病院の診察券、お薬手帳

状況を把握するため



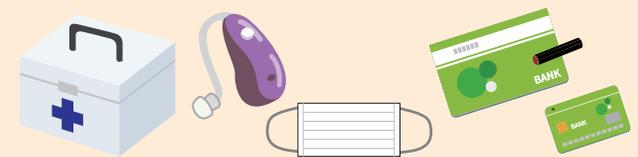
携帯ラジオ、防災ラジオ
筆記用具(油性ペン) 予備の電池

速やかな避難のため



懐中電灯 紐なしの靴 作業用手袋
ヘルメット レインコート

なければ困るもの・いざという時の備え



常備薬 マスクや補聴器 通帳等の貴重品

ラップ・ポリ袋 ウエットティッシュ・除菌アルコール タオル・下着類 携帯電話・モバイルバッテリー マッチ・ライター
毛布・寝袋 衛生用品・生理用品 ペット用ケージ その他、個別に必要なと考えられるもの



みやま市

発行:みやま市役所 総務課
住所:〒835-8601 みやま市瀬高町小川15番地
TEL:0944-63-6111(代)



ハザードマップは、災害に備えて大切に保管しておきましょう。
避難所や避難経路は事前に家族で確認しておきましょう。